

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立東住吉スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		86.0%
達成率		107.5%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	97.5%	95.5%	2.0%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	89.1%	89.7%	-0.6%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	55.5%	46.8%	8.7%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	31,255,586	29,974,208	2,845,886	天井改修工事に伴う臨時休場の補償があった。
	計画	28,409,700	28,361,100		
利用料金収入	実績	3,970,740	6,932,700	-6,189,860	令和4年8月1日～令和5年3月31日の期間天井改修工事のため、第1体育場及び第2体育場は休場し、多目的室のみの営業。
	計画	10,160,600	10,160,600		
その他収入 （自主事業収入）	実績	4,806,728	5,871,633	-4,275,172	令和4年8月1日～令和5年3月31日の期間天井改修工事のため、第1体育場及び第2体育場は休場のため、自主事業が開催できなかった。
	計画	9,081,900	8,973,900		
合計	実績	40,033,054	42,778,541	-7,619,146	
	計画	47,652,200	47,495,600		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	13,452,610	13,872,080	-3,846,390	天井改修工事に伴う臨時休場により、アルバイトの配置を少なくした。また、本社管理費に係る人件費を物件費に計上した。
	計画	17,299,000	16,212,000		
物件費	実績	24,537,766	24,049,413	4,322,766	修繕費及び設備維持管理委託費が計画より上回った。また、本社管理費に係る人件費を物件費に計上した。
	計画	20,215,000	21,415,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	3,836,871	6,278,708	-6,301,329	天井改修工事のため、第1体育場及び第2体育場が使用できなかったため、各体育場で行う教室事業の中止により講師料が計画より下回った。
	計画	10,138,200	9,868,600		
合計	実績	41,827,247	44,200,201	-5,824,953	
	計画	47,652,200	47,495,600		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	107.5%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・館内照明をLED化し、電気使用量の削減をした。 ・利用時間外は照明をこまめに消灯し、点灯時間を短縮することによる節電を実施した。 ・更衣室内のシャワーに節水器を設置し、水道使用量の削減をした。 ・ガス業者、電気業者と特約契約を締結することにより、使用単価を抑制した。 ・冬期eリスボンズ特約（関西電力の割引サービス）に加入し、節電と電気料金削減に取り組んだ。 ・物品購入時は安価なものでも相見積もりをとり、経費の削減をした。 ・内部書類は裏紙を使用するなど、用紙の再利用による経費の削減をした。 ・一部の書面はパソコン画面で確認し、紙とトナー代の節約を実施した。 ・日々、光熱水量をメーター検針で記録し、異常の早期発見と早期対策に努めた。 ・全職員が各経費の縮減意識をもつよう心掛けた。 ・求人掲載費用において、各施設から業者に掲載依頼をしていたが、業者を選定して本部が一括管理することにより、掲載費用の削減に繋がった。 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートにおいて、利用者満足度86%を達成することができた。また、アンケートより館内の美化およびスタッフの接客対応について93%以上の利用者から満足の回答がいただけたことを評価する。 ・今年度は7月までバドミントン、卓球の開放DAYやバスケットボール開放DAY、アダプテッドスポーツ開放DAY（ポッチャ）など、障がいの有無、年代にかかわらず気軽に参加できる事業を実施した。
--

6 外部専門家意見

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度が、目標値の80%はクリアしているものの、昨年度の95%から86%と下がっている。利用者に対するスタッフの対応についての満足度は93%と高いようなので、その他の要因について分析を行い次年度につなげることを期待する。 ・一昨年度、昨年度に引き続き収支がマイナスとなっている。市費の縮減について熱心に取り組んでいる点は評価できるが、赤字解消に向けて新規の利用者を開拓するようなマーケティング活動も進めていただきたい。 ・大阪市スポーツ振興計画に掲げる目標（スポーツ実施率65%）に呼応した取組を計画しており、実現に向けて尽力いただきたい。 ・今年度は改修工事のため長期休館となったが、次年度は、新たな設備環境のもと、利用者により一層喜んでいただける施設運営を期待する。休館期間中の利用者離れが見込まれるため、休館明けの利用者へのアピールとなる広報活動等の取り組みに期待したい。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立西屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	プールは、水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.0%
達成率		108.75%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		83.0%
達成率		103.75%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		0.0%
達成率		0.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	48,588	82,864	-34,276
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			0
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	32,669	22,645	10,024
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	0	0	0
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	84,437,828	71,407,333	24,192,528	プール天井改修工事に伴う屋内プール臨時休場の補填金があった。
	計画	60,245,300	59,370,500		
利用料金収入	実績	23,001,758	30,026,537	-25,160,692	プール天井改修工事に伴う屋内プール臨時休場で収入が計画より下回った。
	計画	48,162,450	48,049,050		
その他収入 (自主事業収入)	実績	31,444,206	46,525,945	-6,036,644	プール天井改修工事に伴う屋内プール臨時休場で、プールの自主事業を実施できなかったため。
	計画	37,480,850	37,249,850		
合計	実績	138,883,792	147,959,815	-7,004,808	
	計画	145,888,600	144,669,400		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	37,828,750	45,014,004	-24,286,250	プール天井改修工事に伴い屋内プールの休場があり、プール監視員が不要になった。自主事業に係る人件費を自主事業経費に分けた。また、計画では本社管理費に係る人件費を人件費に計上していたが、臨時休場により減計上した。
	計画	62,115,000	56,035,000		
物件費	実績	69,457,277	71,715,732	2,591,277	プール臨時休場により、実費は計画よりも下回ったが、利用者の利便性の為に水廻り設備を新たに設置した。本社管理の人件費を物件費に一括計上した。
	計画	66,866,000	72,466,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	16,427,189	19,696,685	-480,411	
	計画	16,907,600	16,168,400		
合計	実績	123,713,216	136,426,421	-22,175,384	
	計画	145,888,600	144,669,400		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度(プール)	108.8%	B	
利用者満足度(トレーニング場)	103.8%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・館内照明の一部をLED化し、電気使用量の削減をした。 ・1階ロビーガラスにカーテンを設置することにより、太陽光の差し込みを妨げ、冷房効率を向上させた。 ・夏季、冬季の空調稼働時間を短縮し、動力を抑制した。 ・更衣室内のシャワー、プール洗体シャワーに節水器具を設置し、水道使用量の削減をした。 ・自然光が取り込める通路については、日中は消灯することで節電し、電気使用量の削減をした。 ・時期によりボイラー設定時間の変更を実施し、ガス使用量の削減をした。 ・ガス業者、電気業者と特約契約を締結することにより、使用単価を抑制した。 ・冬季にプールシートを使用し、ガス使用量を抑制した。 ・自動塩素調節器のサンプリング水を還水槽へ返還する装置を設置し、節水効果を向上させた。 ・物品購入時は安価なものでも相見積もりをとり、経費の削減をした。 ・内部書類は裏紙を使用するなど、用紙の再利用による経費の削減をした。 ・一部の書面はパソコン画面で確認し、紙とトナー代の節約を実施した。 ・日々、光熱水量をメーター検針で記録し、異常の早期発見と早期対策に努めた。 ・全職員が各経費の縮減意識をもつよう心掛けた。 ・求人掲載費用において、各施設から業者に掲載依頼をしていたが、業者を選定して本部が一括管理することにより、掲載費用の削減に繋がった。 ・冬期eリスポンス特約（関西電力の割引サービス）に加入し、節電と電気料金削減に取り組んだ。 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートにおいて利用者満足度80%以上とスタッフ対応について満足度90%以上を達成できたことは評価したい。 ・子ども体操教室の増設（土曜日）を行い、入会待ちの方へ対応した。 ・地域の学校（アブロードインターナショナルスクール大阪）へ水泳授業の場を提供し、地域スポーツの振興に貢献した。 ・プール天井改修工事の期間中、7ヶ月限定の子ども体操教室と子ども空手教室を増設し、休館期間中の子どもの運動継続の場を提供した。 ・西区小学校の体育授業（水泳・体操）へ指導員を計61回のべ122名派遣し、専門性の高い運動指導をおこなった。 ・西区小学校の教員を対象に体育授業（体操）の実技研修を行い、教員の指導力向上に貢献した。 ・新しいダンスプログラム「ZUMBA」を増設し利用者からの要望にお答えした。
--

6 外部専門家意見

<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はプール工事の影響で利用人数が減少しているが、トレーニング場の利用者が昨年度より1万人ほど増えており、運営努力がうかがえる。工事の制限がある中、利用者満足度を維持している点が評価できる。 ・収支については、一昨年度、昨年度に引き続き黒字となっている点も評価できる。 ・地域の団体との関係強化や水泳授業への支援等の取り組みは公共スポーツ施設として高く評価できる。 ・大阪市スポーツ振興計画に掲げる目標（スポーツ実施率65%）に呼応した取組を計画しており、実現に向けて尽力いただきたい。 ・次年度は、新たな設備環境のもと、利用者により一層喜んでいただける施設運営を期待する。

令和4年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立阿倍野屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	プールは、水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		90.0%
達成率		112.5%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		90.0%
達成率		112.5%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	87,742	84,452	3,290
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	18,437	17,305	1,132
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	57,790,691	61,338,624	5,837,141	空調機及びボイラー設備更新工事に伴う臨時休館の補填。
	計画	51,953,550	51,759,000		
利用料金収入	実績	28,752,538	27,484,040	-14,470,962	自主事業に係る施設利用料を個人の利用料から専用利用料に変えたため。空調機及びボイラー設備更新工事に伴う臨時休館の影響により利用者が減少。
	計画	43,223,500	42,964,500		
その他収入 (自主事業収入)	実績	30,438,920	28,557,522	-3,305,830	空調機及びボイラー設備更新工事に伴う臨時休館で自主事業教室が実施できなかった。
	計画	33,744,750	33,027,700		
合計	実績	116,982,149	117,380,186	-11,939,651	
	計画	128,921,800	127,751,200		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	35,806,016	39,544,281	-26,606,984	空調機及びボイラー設備更新工事に伴う臨時休館より配置人員を縮小。本社管理費を計画では人件費に計上していたが、物件費に一括計上した。自主事業に係る人件費を自主事業経費に分けた。
	計画	62,413,000	56,312,000		
物件費	実績	65,523,886	58,652,371	8,049,886	利用者の利便性を高めるために計画になかった外置脱氷機を新規購入した。本社管理費にかかる人件費を物件費に計上した。設備維持管理業者の委託費が計画よりも上回った。
	計画	57,474,000	62,474,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	15,334,897	14,535,486	6,300,097	正職員給与の一部人件費を事業経費にわたった。自主事業に係る施設利用料を個人の利用料から専用利用料に変えたため。新規事業や教室増設に伴う指導委託費の増大。
	計画	9,034,800	8,965,200		
合計	実績	116,664,799	112,732,138	-12,257,001	
	計画	128,921,800	127,751,200		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	112.5%	A	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・館内照明の一部をLED化し、電気使用量の削減をした。 ・1階ロビーガラスにカーテンを設置することにより、太陽光の差し込みを妨げ、冷房効率を向上させた。 ・夏季、冬季の空調稼働時間を短縮し、動力を抑制した。 ・更衣室内のシャワー、プール洗体シャワーに節水器具を設置し、水道使用量の削減をした。 ・自然光が取り込める通路については、日中は消灯することで節電し、電気使用量の削減をした。 ・時期によりボイラー設定時間の変更を実施し、ガス使用量の削減をした。 ・ガス業者、電気業者と特約契約を締結することにより、使用単価を抑制した。 ・冬季にプールシートを使用し、ガス使用量を抑制した。 ・自動塩素調節器のサンプリング水を還水槽へ返還する装置を設置し、節水効果を向上させた。 ・物品購入時は安価なものでも相見積もりをとり、経費の削減をした。 ・内部書類は裏紙を使用するなど、用紙の再利用による経費の削減をした。 ・一部の書面はパソコン画面で確認し、紙とトナー代の節約を実施した。 ・日々、光熱水量をメーター検針で記録し、異常の早期発見と早期対策に努めた。 ・全職員が各経費の縮減意識をもつよう心掛けた。 ・求人掲載費用において、各施設から業者に掲載依頼をしていたが、業者を選定して本部が一括管理することにより、掲載費用の削減に繋がった。 ・冬期eリスボンス特約（関西電力の割引サービス）に加入し、節電と電気料金削減に取り組んだ。 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・市民の週1回以上の運動やスポーツをする人の割合が65%以上を達成するために、「こども少人数制レッスン」「水泳観察モニタリング」「1回参加型こども教室」等の新規事業や年始イベントをプール、スタジオともに実施することでスポーツをする機会を増やし、収入の確保に努めた。 ・障がい者スポーツ指導員等の資格を積極的に取得し、専門的な知識を利用者サービスとして反映した。 ・利用者アンケートにおいて、目標であった利用者満足度80%以上を達成することができたことは評価する。 ・設備更新工事に伴う臨時休館が約2ヶ月間あったが、年間利用者数においては10万人を突破し、目標を達成することができた。 ・学校の部活動や専門学校の資格を取得する際の講習会場として、専用使用していただいたことにより、スポーツの振興に貢献し、施設を有効に活用することができた。また、「大阪市認知症高齢者等見守りネットワーク事業」「あべのあんしんステーション」「オレンジパートナー」等、地域の事業にも積極的に協力し、地域との連携を深めることができた。 ・空調や館内照明の適正使用、スケールメリットを活用した電力及びガス供給会社との契約をして、管理運営経費の削減を図った。

6 外部専門家意見

令和4年度 指定管理者年度評価シート

・利用者満足度がプール、トレーニング場とも90%、利用者に対するスタッフの対応への満足度も90%以上と高く、利用者ニーズを事業に展開できるよう努めている姿勢がうかがえる。

・プール、トレーニング場ともに利用者が前年度から増加している点、利用者ニーズを活かした多くの教室を行っている点が評価できる。

・収支については、昨年度に引き続き黒字となっている。安定したマネジメントは高く評価できる。

・大阪市スポーツ振興計画に掲げる目標（スポーツ実施率65%）に呼応した取組を計画しており、実現に向けて尽力いただきたい。

・今後も安全で安心して利用できる施設運営に努めていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	